

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）
（単施設研究用）

西暦 2023 年 3 月 15 日作成 第 1.2 版

研究課題名	質量顕微鏡法を用いた小児特発性ネフローゼ症候群の蛋白尿漏出メカニズムの解明
研究の対象	2000 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日まで当科でステロイド抵抗性ネフローゼ症候群に対して腎生検を施行された 18 歳未満の小児が対象です。
研究目的 ・方法	ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群は治療に反応せずに蛋白尿が持続する場合には、腎不全に至る病気であるため原因の解明とより良い治療薬の開発が望まれています。今回ネフローゼ症候群における蛋白漏出メカニズムを明らかにするために、当科に凍結保存されている腎臓組織切片（治療開始前と治療開始 2 年後）における糖鎖などの分子の量や分布の変化の解析を行います。
研究期間	西暦 2020 年 6 月 25 日 ～ 西暦 2027 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	・診療録より患者さんの基本情報（年齢、性別、診断名、臨床経過、治療内容など）を収集します。 ・凍結保存された腎臓検体における組織内の物質の分布などを質量顕微鏡法で調べます。 腎臓組織片の解析は、プレッパーズ株式会社に委託します。その際は個人を特定できないように匿名化し、専門の搬送業者を介して送付します。解析後に残った組織片は当院へ返却されますので、外部に対象の方の組織片が残ることはありません。
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 小児総合医療センター（研究責任者）内村 暢 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-243-3886	